

木村 工機

# エアロゾルの拡散防止

〜ベストエアフロー〜

## イオン化し空気清浄化

木村工機(本社・大阪市中央区上本町西五の三の五、上六ビル)〜三F、社長・木村憲二氏、☎050・3733・9400)の『ベストエアフロー』は、「気流設計」「放射整流」「換気・空気清浄」を軸に換気と空調の最適化を目指す放射整流換気空調システム。空冷ヒートポンプ式熱回収外調機「ベストプレス」床置形、冷温水式セパレート形空調機大温度差仕様または冷温水式ファンコイルユニット大温度差仕様、全空気式放射整流ユニット「環境エアビーム」、還気吸込口、エアクリンチャンバなどから構成。

外気三〇%と混合。冷温水式空調機(個別分散)で循環吹出し。室内へは「環境エアビーム」より分散吹出しで放射整流空調を行う。またイオン発生器でみずたまいオン化し、さらに空気清浄化を促進することもできる。部屋ごとの吸込口は天井上部に取付け、室内空気全体を集中吸込み処理。なお、外気取入れ三〇%はビル管理法による二回換気/時に相当するもので、増減も可能である。

また熱放射と微少気流を併用する放射整流空調により、温熱環境の最適化を実現。放射効果により室内の上下温度差を二℃以内に保ち、イオン・オゾン発生器も搭載できる。

さらに外気導入量三〇%を保ちながら加湿・除湿を強化し、室内空気質を高め、排気時にはヒートポンプサイクルによる熱回収を行い、換気の熱ロスを抑制。還気七〇%は必要に応じてダクト内エアクリンチャンバで清浄度を高め、外気処理された新鮮空気とクリン化した還気を混合して温調する。

度、気流に配慮した空調システムを展開してきたが、新型コロナウイルスに伴い、感染性エアロゾルの拡散を防ぐため、この『ベストエアフロー』を開発した」と語る。

システム構成機器のうち還気吸込口とエアクリンチャンバは新開発品。エアクリンチャンバは、中性能フィルタ、酵素フィルタ、抗菌フィルタなどのフィルタでエアロゾルを捕集。LED紫外線ランプで細菌やウイルスを分解・除去する。

最後に鈴木部長は「このウィズコロナ時代に、当社は、空調機メーカーとして、今後もお客さまにできる限りの『安心感』をご提供していくことに努めていきたい」と語った。

同社東京営業本部営業開発一部の鈴木幹也部長は「当社は、これまでも医療・福祉施設向けに換気や湿